

目次

はしがき（増補版につき）	i
序章 本書の研究背景と狙い	1

第1部 労働組合組織化と労使関係の深化

第1章 労働組合結成と労使関係および企業経営の変化	12
第1節 はじめに	12
第2節 労働組合の結成理由	13
第3節 労働組合の結成過程	16
1 労働組合結成の中心者と上部・外部組織の支援	16
2 結成準備段階での問題点と経営側の対応	17
第4節 労働組合結成後の労働条件・経営管理の変化	21
第5節 労働組合結成後の労使関係と組合活動	24
第6節 まとめ—組合効果—	28
第2章 パートタイマーの組織化と意見反映システム —同質化戦略と異質化戦略—	30
第1節 パートタイマー組織率の現状と組織化の必要性	30
第2節 同質化戦略によるパートタイマーの組織化と意見反映 システム	35
1 JA労組（全員組織化）	35
2 JB労組（同時組織化）	39
3 JC労組（経営再建型組織化）	43
4 JD労組（コミットメント拡大型組織化）	47
第3節 異質化戦略によるパートタイマーの組織化と意見反映 システム	52

1	JE労組（協議会移行型組織化）	52
2	JF労組（特別組合員方式組織化）	58
第4節	まとめ—パートタイマー・企業・正社員組合3者のオール ウィン（all win）を求めて—	64
第3章	CSRと企業別組合の役割	69
第1節	はじめに	69
第2節	日本における企業の社会的責任と労働組合の役割	71
1	企業の社会的責任（CSR）	71
2	労働組合の役割	74
第3節	S労働組合のCSRへの取り組み	76
1	S労組の概要	76
2	S労組の経営改革への取り組み	77
3	S労組のCSRへの取り組み	85
4	成 果	95
第4節	まとめ—CSRと企業経営の相乗効果と組合運動のあり 方—	98

第2部 企業グループ経営と労使関係の拡大

第4章	企業グループ連結経営と人事労務管理 —鉄鋼Bグループ事例を中心にして—	104
第1節	はじめに	104
第2節	中核企業B社における企業グループ連結経営と人事労 務管理	105
1	企業グループ連結経営	105
2	企業グループ人事労務管理	111
3	労使関係	121
第3節	関連会社BK社の企業経営と人事労務管理	122

1	企業グループ経営とコーポレート・ガバナンス	122
2	人事労務管理	125
3	労使関係	130
第4節	おわりに—グループ経営の強化と人事労務管理の波状 化—	131
第5章	純粋持株会社企業グループの労使関係	137
第1節	はじめに	137
第2節	純粋持株会社の解禁をめぐる論議	139
1	解禁の背景	139
2	解禁までの経過	140
3	改定内容と純粋持株会社の設立状況	142
4	独禁法改正と労使関係上の問題	143
第3節	純粋持株会社の設立と労使関係	148
1	Hホールディングス	148
2	Rホールディングス	158
3	Wグループ本社	162
4	Nグループ本社	169
第4節	純粋持株会社の多様性と労使関係	178
第5節	まとめ—純粋持株会社の使用者性をめぐって—	183
第6章	企業グループ労使関係の望ましい姿	
	—ケンウッド労組の企業グループ単一労組化の事例—	187
第1節	企業グループ労使関係の現状	187
1	連結会計導入前の企業グループ労使関係のあり方	187
2	連結会計導入後の企業グループ労使関係	189
第2節	本格的な企業グループ労使関係の展開—ケンウッドグ ループユニオンの取り組み—	191
1	債務超過による赤字転落と企業グループ経営の強化	191

2	グループレベルの単一労組化への取り組み	193
3	単一労組化における企業グループ労使関係とその効果	198
第3節	まとめ—使用者性に関連して—	209

第3部 中小企業の労使関係と労使コミュニケーション

第7章	中小企業における労使コミュニケーション	214
第1節	中小企業における労使コミュニケーション	215
1	コミュニケーション基本方針	215
2	経営情報の開示度	216
3	コミュニケーションツール：従業員組織	218
4	コミュニケーションツール：労働組合	220
5	コミュニケーション程度の評価	222
第2節	経営者のコミュニケーション基本方針4タイプと企業経営	223
1	コミュニケーション基本方針4タイプと経営情報開示	223
2	コミュニケーション基本方針4タイプと双方情報伝達度 や従業員の経営への協力度	224
3	コミュニケーション基本方針4タイプと従業員管理上の 困難度	225
4	コミュニケーション基本方針4タイプと企業業績	226
第3節	労働条件決定における労使コミュニケーションの実態	228
1	企業規模別実態	228
2	企業形態別実態	233
3	社長属性別実態	234
4	コミュニケーション基本方針4タイプ別実態	235
第4節	まとめ—労使コミュニケーションの経営資源性—	236

第8章 働き甲斐のある会社を目指す労使関係	
—石油製品小売業(株)千代田エネルギー=C社—	241
第1節 はじめに	241
第2節 経営者の労働組合観と組合効果	243
1 経営者の労働組合観	243
2 組合効果	245
第3節 生活保障と雇用保障	248
1 生活保障と能力主義管理	248
2 雇用保障と雇用調整	251
第4節 働き甲斐のある会社での仕事ぶり	253
1 営業所運営の自主性	253
2 徹底的な経営情報の公開主義	255
3 旺盛な労働意欲—労使信頼の表れ	256
4 円滑なチームワーク	259
第5節 信頼に基づく緊張感のある労使関係	260
第6節 まとめ—中小企業ブルーカラーの働き甲斐を求めて—	262
第9章 集团的労使関係の構築	
—組織化の秘訣と従業員代表制を手がかりに—	267
第1節 はじめに	267
第2節 集团的労使関係の現状	267
1 労働組合組織率	267
2 労働組合の存在率	271
第3節 集团的労使関係の構築	273
1 労働組合組織化のプロセス・秘訣—札幌地域労組	273
2 従業員代表制の模索	281
第4節 集团的労使関係の構築に向けて	288

第4部 個別労働紛争の解決・予防と労働組合

第10章 労働組合の紛争解決・予防	
—コミュニティ・ユニオンの取り組みを中心に—	292
第1節 集団的労働紛争の減少と個別労働紛争の増加	292
第2節 コミュニティ・ユニオンの個別労働紛争解決・予防への取り組み	294
1 コミュニティ・ユニオンの概要	294
2 ユニオンの事例（連合福岡ユニオン）	295
第3節 コミュニティ・ユニオン組合員の個人事例：紛争の発生メカニズムと解決プロセス	298
1 セクハラ（Tさん）	298
2 残業代未払い（Wさん）	305
3 突然解雇（Rさん）	315
4 小 括	323
第4節 労働組合の個別労働紛争の解決・予防の意義と今後の課題	325
1 労働組合全体：個別労働紛争の予防役割を中心に	326
2 コミュニティ・ユニオン	329
3 今後の課題	330
第11章 合同労組の現状と存在意義	
—個別労働紛争解決に関連して—	333
第1節 合同労組とは	333
第2節 合同労組の歴史的展開とその広がり	336
1 合同労組の本格的な展開	336
2 コミュニティ・ユニオンの結成と拡大	337
3 個人加盟ユニオン・合同労組のルネサンス	339
第3節 合同労組の現状—個別労働紛争解決に関連して—	344

1	合同労組の組織構成：組合員数の推移	345
2	労働紛争解決と紛争の背景・予防策	348
3	合同労組の活動・組合員の参加	353
4	組合財政	356
5	組合リーダー	361
第4節	合同労組の存在意義と課題	364
1	存在意義	364
2	課題	367
第5節	おわりに—合同労組研究から政労使への提言—	369

第5部 地方労働運動の展開・強化

1	地域協議会の改革過程と役割：モデル地協・新地協	372
---	-------------------------	-----

第12章 全員参加による「万能型地協」

	—連合新潟中越地域協議会の事例—	376
第1節	はじめに	376
第2節	中越地協の活動内容	379
1	自前型活動（組合完結型活動）	379
2	ネットワーク型活動（一般市民向け活動）	384
3	自前型活動とネットワーク型活動の連携・相乗効果	390
第3節	万能型地協のバックアップ体制	391
1	事務局長の個人の力量	391
2	徹底した地協設立準備	392
3	地方連合会の支援	393
4	機関紙発行：地協と単組・組合員を繋ぐ血液	394
5	透明な財政運営と財政の効率化	397
6	巻き込み手腕	399
第4節	まとめ—「万能型地協」の普及—	401

終章 労働組合運動のさらなる活性化と労使関係の新たな深化に向けて …	403
第1節 労働組合運動の目指すべき方向性 ……………	403
1 「社会的公器」としての労働組合 ……………	403
2 労働組合の社会的責任 (Union Social Responsibility、 USR) ……………	405
第2節 労働組合のさらなる活性化への羅針盤：フロンティア 開拓の努力 ……………	407
1 組 織 化 ……………	408
2 労働組合・組合リーダーのあり方 ……………	412
3 組織間連携とシナジー効果 ……………	418
第3節 使用者の姿勢 ……………	419
第4節 労使関係の新たな深化 ……………	421
1 労使関係の共存性 ……………	421
2 労使関係の共感性 ……………	422
3 労使関係の共育性 ……………	423
4 労使関係の共創性 ……………	424
5 労使関係4 共性の遍在化 ……………	425
 参考文献・資料……………	 428
索引……………	436
あとがき・感謝の言葉……………	445
本書初出一覧 ……………	449